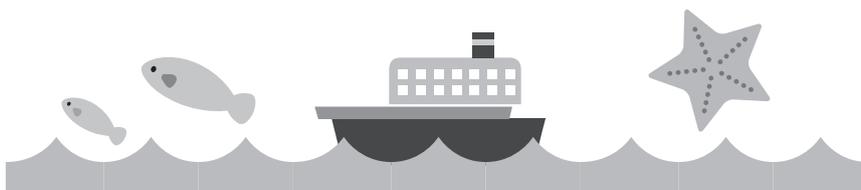


## ☒ テキストの特色 ☒

- このテキストは、中学受験もにらんで、4年生の前半に学習した内容の復習を目的としています。また、これから学習する内容も、基本的なものを入れてあります。
- 各講座は3～4ページ構成で、「要点の整理」→「要点チェック」→「練習問題」という流れになっています。
- 「要点チェック」は、穴うめ形式になっていますので、基本事項を確認することができます。「練習問題」は、単元のまとめの問題として、大切な内容のものを入れてあります。



## も く じ

<b>1</b>	季節と植物	2
<b>2</b>	季節と動物	6
<b>3</b>	天気と気温の変化	10
<b>4</b>	からだのつくりと動き	13
<b>5</b>	電流のはたらき	16
<b>6</b>	星と星座	20
<b>7</b>	月の動きと形	24
<b>8</b>	ものの体積と力・温度	28
◆	予習問題	32

# 1

## 季節と植物

● 学習内容  
① 春のようす  
② 夏のようす

### 要点の整理

#### 1 春のようす

○春になると、さむい冬をこしてきた草や木がいっせいに花をさかせる。

##### <早春にさく花>

- ・野原にさく花 … オオイヌノフグリ・ホトケノザ・ナズナなど
- ・木にさく花 … ウメ・ジンチョウゲ・コブシ・モクレンなど

オオイヌノフグリ



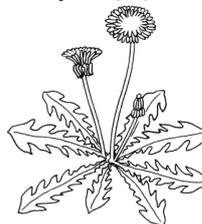
コブシ



##### <春のさかりにさく花>

- ・野原にさく花 … レンゲソウ・タンポポ・スミレなど
- ・木にさく花 … モモ・サクラ・マツなど

タンポポ



サクラ



##### <春の終わりにさく花>

- ・野原にさく花 … ノアザミ・シロツメクサ・ハルジオンなど
- ・木にさく花 … ヤマブキ・フジ・ツツジ・イチョウなど

ハルジオン



#### 2 夏のようす

○夏には、春に芽をだした草や木が花をさかせている。

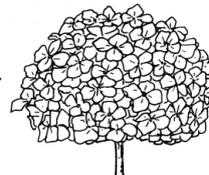
##### <初夏にさく花>

- ・野原にさく花 … ヒメジョオン・ユキノシタ・ドクダミなど
- ・木にさく花 … アジサイ・クチナシ・ネムノキなど

ドクダミ



アジサイ



##### <夏のさかりから夏の終わりにさく花>

- ・野原にさく花 … アサガオ・ヒルガオ・ヤブガラシ・ツユクサなど
- ・木にさく花 … サルスベリ・ムクゲ・フヨウなど

アサガオ



ヤブガラシ



ツユクサ



ムクゲ



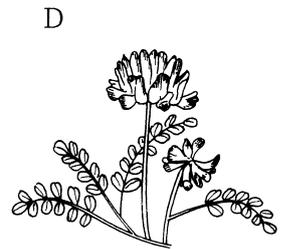
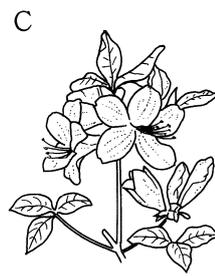
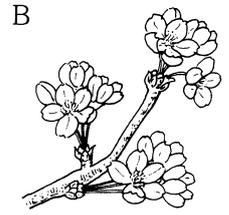
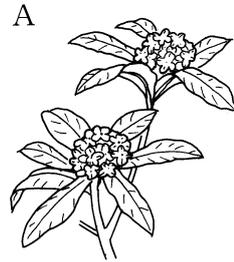
要点チェック

1 春のようす 次の ( ) にあてはまることばを、下の [ ] から選びなさい。

校庭には、早春には (① ) (図のA)  
 がさき、春のさかりには (② ) (図のB)  
 がさき、春の終わりごろには (③ )  
 (図のC) がさいている。

野原には、早春にはホトケノザがさき、春のさ  
 かりには、スミレ、レンゲソウ、(④ )  
 などがさき、春の終わりにはシロツメクサがさい  
 ている。図のDは (⑤ ) の花である。  
 このように、春になると、寒い冬をこしてきた草  
 や木がいっせいに花をさかせる。

サクラ ジンチョウゲ レンゲソウ ツツジ  
 タンポポ オオイヌノフグリ ハルジョオン  
 ノアザミ ヘビイチゴ

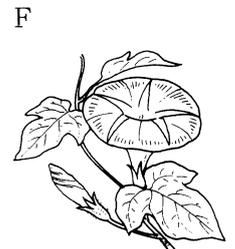
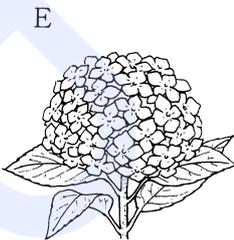


2 夏のようす 次の ( ) にあてはまることばを、下の [ ] から選びなさい。

校庭には、初夏には (① ) (図のE)  
 がさき、夏のさかりには (② ) (図のF),  
 キョウチクトウ、ホウセンカ、ヘチマなどがさき、  
 夏の終わりには (③ ) , フヨウなどの花  
 がさいている。

野原には、初夏には (④ ) (図のG) や  
 ユキノシタなど、夏のさかりには (⑤ )  
 (図のH), スベリヒユなどがさいている。この季  
 節には、(⑥ ) に芽を出した草や木が花  
 をさかせている。

サルスベリ アジサイ ヒマワリ アサガオ  
 ヘチマ ムクゲ ドクダミ ヒメジョオン  
 ツユクサ ダリア マツバボタン ヒヤシンス  
 モクレン ハナショウブ 冬 春



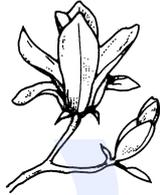
## 練習問題

1 《季節と植物》 植物の生活について、次の問いに答えなさい。

(1) 夏のころ、花だんにさく花にはどんなものがありますか。次からすべて選びなさい。

( )

ア



モクレン

イ



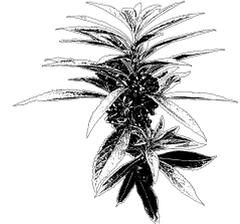
ヒヤシンス

ウ



ヒマワリ

エ



ホウセンカ

(2) ヒマワリの育っていくようすについて、正しく説明しているものはどれですか。次から選びなさい。

( )

ア ヒマワリが育つと、ふた葉も本葉も葉が大きくなり、数もふえていく。

イ ヒマワリが育つと、本葉の数はふえるが、ふた葉はやがてかれて落ちてしまう。

ウ ヒマワリが育つと、ふた葉が次つぎに出てきて、本葉も大きくなる。

エ ヒマワリが育つと、ふた葉の数はふえるが、本葉はやがてかれて落ちてしまう。

(3) 4月初めごろ、植物のようすを調べました。次の①～③にあてはまる植物を、下から選びなさい。

① 葉はまだ出ていないが、花がいっせいにさいている。 ( )

② 葉が大きく成長していて、花もたくさんさいている。 ( )

③ くきの芽から小さな葉がたくさん出ているが、花はまださいていない。 ( )

ア アジサイ

イ ホウセンカ

ウ ススキ

エ インゲンマメ

オ サクラ

カ アブラナ

キ トウモロコシ

ク オシロイバナ

(4) 次のA, Bの植物の花がさく時期として正しいものを、下から選びなさい。

A タンポポ ( )

B チューリップ ( )

ア 冬～早春

イ 春

ウ 夏

エ だいたい一年中

(5) サクラとイチョウについて説明した文で、正しい文には○、まちがっている文には×を書きなさい。

① サクラは、春に花がさくとすぐに、花びらや葉がちる。 ( )

② イチョウの葉は秋ごろに黄色くなってきて、葉を落としていく。 ( )

③ サクラの実は、7月～8月ごろにじゅくしていく。 ( )

④ イチョウの実は、すべてのイチョウの木にできる。 ( )

⑤ サクラやイチョウの葉は、冬のあいだはすべて落としたままである。 ( )

**2 《サクラの花》** 東京では、3月も末になると、ソメイヨシノの枝の花の芽が目に見えてふくらんでいます。これについて、次の問いに答えなさい。

(1) ソメイヨシノとよく似たつくりの花をもつものはどれですか。次から選びなさい。

ア イチョウ      イ エンドウマメ      ウ カエデ      エ バラ      (      )

(2) ソメイヨシノの花の芽は、冬の寒さにたえ、春になるとふくらんできます。花の芽からつぼみがのびてきて花がさきます。花のさく条件はなんですか。次から選びなさい。

ア 気温      イ 光の強さ      ウ 水の量      エ こん虫の数      (      )

**3 《アブラナの花》** アブラナのつくりについて、次の問いに答えなさい。

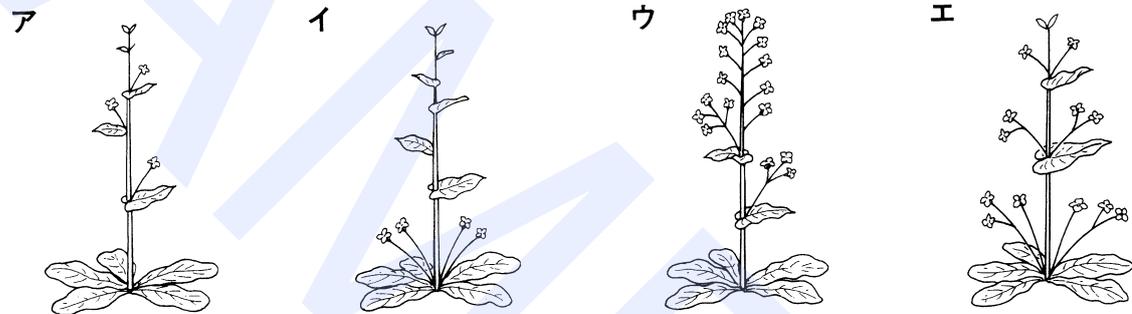
(1) 東京近辺で、アブラナのさく時期と花の色について正しいものを、次から選びなさい。

ア 3～4月ごろ、白い花がさく。      イ 3～4月ごろ、黄色い花がさく。(      )

ウ 7～8月ごろ、白い花がさく。      エ 7～8月ごろ、黄色い花がさく。

オ 11～12月ごろ、白い花がさく。      カ 11～12月ごろ、黄色い花がさく。

(2) アブラナの花のつきかたを正しく表しているものを、次から選びなさい。(      )



(3) アブラナは、冬をどのようにしてすごしていましたか。次から選びなさい。(      )

ア 若い植物      イ 地下の根      ウ たね

(4) アブラナと最もよく似たなかまの植物を、次から選びなさい。(      )

ア サクラ      イ ダイコン      ウ タンポポ      エ ユリ      オ ホウセンカ

**4 《春と夏の植物》** 次の①～⑥にあてはまる植物を、下から2つずつ選びなさい。

① 春、木にさく花 (      ) (      )

② 春、花だんにさく花 (      ) (      )

③ 春、野原にさく花 (      ) (      )

④ 夏、木にさく花 (      ) (      )

⑤ 夏、花だんにさく花 (      ) (      )

⑥ 夏、野原にさく花 (      ) (      )

ア チューリップ      イ アジサイ      ウ ヒメジョオン      エ サクラ

オ キョウチクトウ      カ タンポポ      キ ヒマワリ      ク レンゲソウ

ケ モモ      コ スイセン      サ ツユクサ      シ アサガオ

# 2

## 季節と動物

- 学習内容  
 ①春に見られる動物  
 ②夏から秋の動物

### 要点の整理

#### 1 春に見られる動物

春になると、冬の間、冬眠<sup>とうみん</sup>していた動物がめざめ、さなぎやたまごで冬ごしをしたこん虫もさなぎやたまごからかえって、いっせいに活動を始める。

##### <花に集まるこん虫>

- テントウムシはアブラナなどにいるアブラムシを食べる。
- モンシロチョウはアブラナに産卵<sup>さんらん</sup>するためにやってくる。
- ナシヤスマレの花にはミツバチやハナアブが集まってくる。
- ツツジの花にはクロアゲハ、カラスアゲハなどのアゲハチョウやクマバチなどが集まってくる。

アオスジアゲハ



##### <ウグイス・ヒバリなど>

- 冬の間、山から平地におりてくるが、春になると山にもどり、産卵してひなを育てる。

ウグイス



ツバメ



##### <わたり鳥>

- ツバメ・カッコウなど春になり南の国から日本にわたってくるわたり鳥を夏鳥という。

#### 2 夏から秋の動物

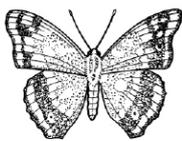
夏は気温が高く食べ物がほうふなため、動物の活動がさかんになる。とくにこん虫の種類がふえる。

##### <こん虫>

- オオムラサキ（日本の国蝶<sup>こくちょう</sup>）・キマダラヒカゲ・カナブン・コガネムシ・セミなどは昼間に、カブトムシ・クワガタなどは夜間に、クヌギやコナラなどの樹液<sup>じゅえき</sup>に集まる。
- アブラゼミ・ニイニイゼミ・ヒグラシ・ツクツクホウシなどのセミのなかまは、鳴くのはオスだけである。

※アブラゼミのような虫は5～6年地中生活をおくるが、成虫になると1～2週間しか生きられない。

オオムラサキ



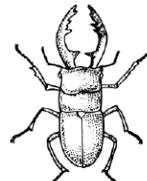
カナブン



カブトムシ



クワガタ



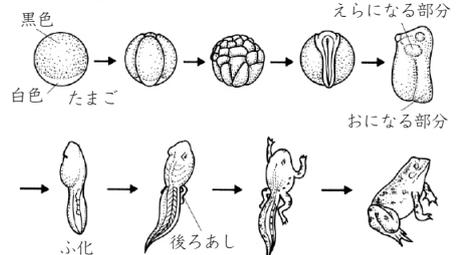
セミ  
(ヒグラシ)



##### <カエル>

春にたまごからふ化したオタマジャクシは、尾がなくなりカエルになる。カエルの多くは夜行性で、雑木林や森で生活をし、ちいさな虫などをえさにする。

カエルの成長



<鳥>

- ・夏 … 森や雑木林では、カッコウ・ホトトギスなどが見られる（夏鳥）。シジューカラ・キツツキなどは1年中見られる（留鳥）。
- ・秋 … ツバメ・カッコウ・ホトトギスなどは秋になると日本をはなれ、あたたかい南の国にわたる。平地では、モズ・ヒヨドリなどが見られる。

モズ



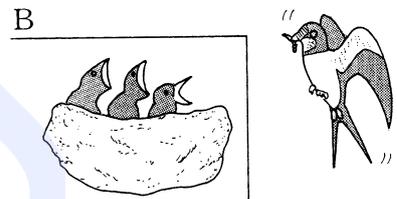
要点チェック

1 春に見られる動物 次の（ ）にあてはまることばを、下の□から選びなさい。

春になると、冬の間、(① )していた動物がめざめ、さなぎやたまごで(② )をしたこん虫もさなぎやたまごからかえって、いっせいに活動を始める。アブラナなどの植物には、モンシロチョウやアブラムシを食べる(③ )などが、ツツジの花には(④ )やクマバチなどが、ナシの花やスマレの花には、図のAのように(⑤ )やハナアブが集まってくる。

早春には、(⑥ )やヒバリが見られるようになり、少しおくれであたたかくなると、図のBのように、ひなにえさをやる親(⑦ )が見られるようになる。

- すい眠 冬眠 冬ごし カマキリ テントウムシ  
ミツバチ アリ アゲハチョウ ツバメ ウグイス

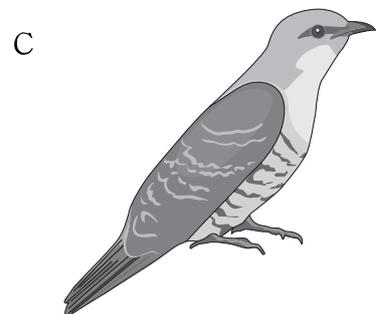
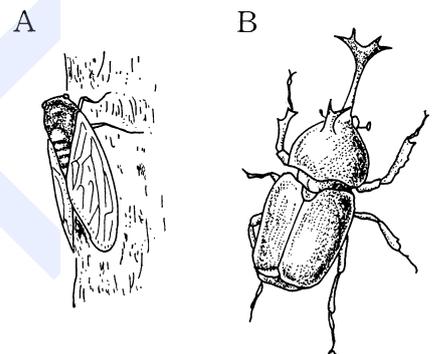


2 夏から秋の動物 次の（ ）にあてはまることばを、下の□から選びなさい。

夏になると、まわりには食べ物がたくさんあるので、動物の活動もさかんになる。春に見られたこん虫のほかに、(① )(図のA)などのセミのなかま、(② )(図のB)などの甲虫のなかま、オオムラサキなどのチョウのなかまが見られるようになる。池をおよぐオタマジャクシは、尾がとれて(③ )になって、なきはじめる。森の中では、(④ )(図のC)やカッコウなどが南の国からわたってきて、さえずりはじめる。

夏も終わりころになると、(⑤ )はあたたかい南の国へ帰る準備をはじめ、10月ごろには日本からほとんどすがたを消してしまう。平地では、モズ、(⑥ )などがよく見られるようになる。

- カブトムシ アブラゼミ メダカ カエル  
ツバメ ホトトギス ハト ヒヨドリ  
トンボ カラス



## 練習問題

1 《春の動物》 次の①～⑤の文のうち、正しく説明しているものには○、まちがって説明しているものには×を答えなさい。

- ① 春になってあたたかくなると、冬眠していた動物やさなぎで冬ごししていた動物が目をさまし、いっせいに活動をはじめ。アブラナの花の近くには、さなぎで冬ごししたモンシロチョウなどが見られる。 ( )
- ② 木にも花がさきはじめるので、こん虫が集まってくる。サクラやナシ、リンゴの花には、アゲハチョウやクマバチなどが集まってきてみつをすう。 ( )
- ③ サクラの花がさきおわり、わか葉がのびだすころになると、アゲハチョウのよう虫が、サクラやウメの葉を食いあらす。 ( )
- ④ ヒキガエルのオタマジャクシが大きくなって、4月～5月にかけて、あしがそろってくる。 ( )
- ⑤ ウメの花がさくころにはウグイスが見られるようになり、サクラの花がさくころにはツバメが見られるようになった。 ( )

2 《季節と動物》 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある8月の夕方、わたしは近くの川原を歩いてみました。<sup>なかす</sup>中州のあし原の上にはきれいな夕焼けをバックにたくさんの(A)が飛んでいます。これからねぐらに入るのでしょう。

(A)たちはそろそろ南へと渡<sup>わた</sup>って行ってしまうころです。

また、数は少ないのですが、ひらひらとまう(B)も飛んでいます。どうやら小さな虫をとっているようです。こんなにうす暗い中なのに、よくとれるなあーと感心してしまいました。ゴイサギの「クワッ」となく声も聞こえています。夕方の川原もけっこうにぎやかなものです。

帰りに近くの神社に寄<sup>よ</sup>ってみると、みきから樹液<sup>じゅえき</sup>の出ている大きなクヌギの木を見つけました。あと数時間もすれば、いろいろなこん虫が集まっていることでしょう。

(1) ( )のA、Bにあてはまる動物を、次から1つずつ選びなさい。

ア セミ	イ フクロウ	ウ ウサギ	エ カブトムシ	オ ガ
カ カマキリ	キ スズメ	ク トカゲ	ケ チョウ	コ コウモリ
サ ツバメ	シ ネズミ		A ( )	B ( )

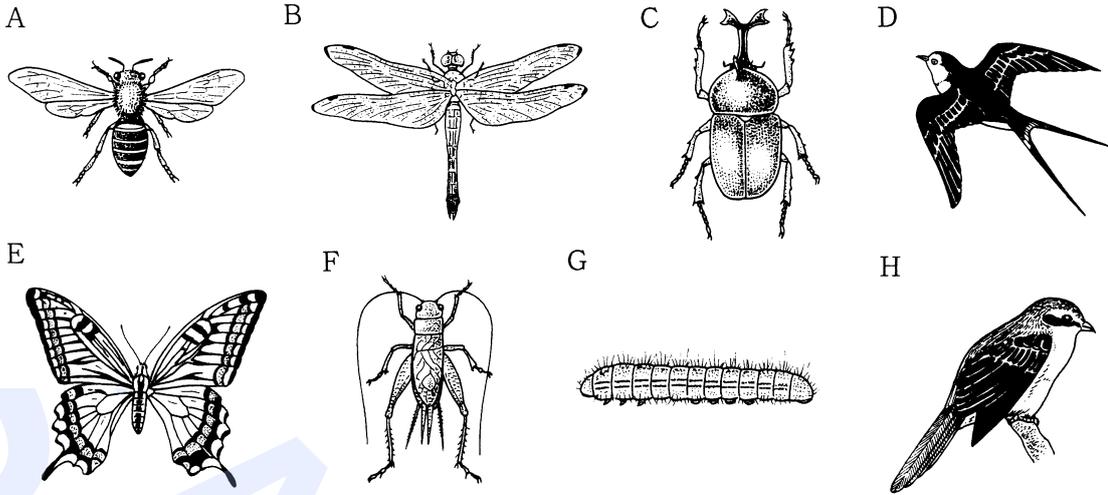
(2) Aと同じような渡りをする鳥を、次から選びなさい。 ( )

ア スズメ	イ ハクチョウ	ウ カルガモ	エ カッコウ
-------	---------	--------	--------

(3) 下線部のいろいろなこん虫にあてはまるものを、(1)からすべて選びなさい。 ( )

(4) Bや(3)のこん虫は、Aとはちがった生活のしかたをしています。どのようなちがいですか。かんたんに説明しなさい。 ( )

3 《季節と動物》 下の動物の図について、あとの問いに答えなさい。



(1) 図のA～Hにあてはまる動物の名まえを、それぞれ次から選びなさい。

- |   |        |   |           |   |         |
|---|--------|---|-----------|---|---------|
| ア | アゲハチョウ | イ | モンシロチョウ   | ウ | カブトムシ   |
| エ | コオロギ   | オ | オビカレハのよう虫 | カ | シオカラトンボ |
| キ | ミツバチ   | ク | ヒバリ       | ケ | モズ      |
|   |        | コ | ツバメ       |   |         |

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| A ( ) | B ( ) | C ( ) | D ( ) |
| E ( ) | F ( ) | G ( ) | H ( ) |

(2) 図のA～Hがそれぞれ見られはじめる季節はいつごろですか。「春」、「夏」、「秋」、「冬」のことで答えなさい。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| A ( ) | B ( ) | C ( ) | D ( ) |
| E ( ) | F ( ) | G ( ) | H ( ) |

(3) 次の①～⑧の文にあてはまる動物を、それぞれ図のA～Hから選びなさい。

- ① ミカンやカラタチの葉などにたまごをうみつけ、よう虫のときはそれらの葉を食べる。 ( )
- ② カエルなどをとらえて食べる。つかまえたえさを、木のえだにつきさしたりするしゅうせいがある。 ( )
- ③ よう虫のときは、葉がくさってできた土の中などでそだち、成虫になると木のしるなどをすう。 ( )
- ④ アブラナ、サクラ、ナシ、リンゴの花などに集まり、みつをすう。 ( )
- ⑤ よう虫のときは池など水の中ですごし、ヤゴとよばれている。成虫になる直前に陸上に出て、だっ皮をして成虫になる。 ( )
- ⑥ 秋ごろによく見られ、夜に美しい声でなく。 ( )
- ⑦ 春ごろ日本へわたってきて、日本でたまごをうみ、ひなをそだてる。 ( )
- ⑧ サクラやウメのえだに天まく(テント)をはって、サクラやウメの葉を食いあらす。 ( )

# 解答

## 《S小4理科》

### 1 季節と植物

#### 要点チェック

- 1 ①ジンチョウゲ ②サクラ ③ツツジ  
④タンポポ ⑤レンゲソウ
- 2 ①アジサイ ②アサガオ ③ムクゲ  
④ヒメジョオン ⑤ツユクサ ⑥春

#### 練習問題

- 1 (1)ウ, エ (2)イ (3)①オ ②カ  
③ウ (4)Aイ Bイ (5)①× ②○  
③○ ④× ⑤○

[考え方] (1)モクレン, ヒヤシンスは春にさく花である。(2)花がさくとき, はじめにふた葉が出てから本葉が出てくる。(3)ススキは秋に花をさかせる。(5)①花びらはすぐにちるが, 葉がちるのは秋のころである。

- 2 (1)エ (2)ア

[考え方] ソメイヨシノは, 東京では, 3月末から4月上じゅんにかけて花がひらく。

- 3 (1)イ (2)ウ (3)ア (4)イ

[考え方] (3)アブラナは秋にたねをまき, 成長して冬をこし, 春に花をさかせる。このような成長のしかたをする植物を, 2年生植物という。(4)ダイコン, キャベツなども, アブラナと同じなかまである。これらの植物は, 秋に発芽して, 冬をこして, よく年の春に花をさかせる。

- 4 ①エ, ケ ②ア, コ ③カ, ク ④イ, オ ⑤キ, シ ⑥ウ, サ

[考え方] 春にさく花, 夏にさく花に分

けてから, 木にさく花, 花だんにさく花, 野原にさく花に分けていくとよい。

## 2 季節と動物

### 要点チェック

- 1 ①冬眠 ②冬ごし ③テントウムシ  
④アゲハチョウ ⑤ミツバチ  
⑥ウグイス ⑦ツバメ
- 2 ①アブラゼミ ②カブトムシ ③カエル  
④ホトトギス ⑤ツバメ ⑥ヒヨドリ

### 練習問題

- 1 ①○ ②× ③× ④○ ⑤○  
[考え方] ②サクラやナシ、リンゴの花に集まってくるのは、ミツバチやハナアブなどである。アゲハチョウやクマバチはツツジの花などに集まる。③サクラやウメの葉を食いあらず虫は、オビカレハのよう虫である。アゲハチョウのよう虫は、ミカンやサンショウの葉を食いあらず。
- 2 (1)Aサ Bコ (2)エ (3)エ, オ, ケ  
(4)夜間になると活発に運動する。  
[考え方] (1), (2)ツバメ, カッコウは夏鳥で, ハクチョウ, カルガモは冬鳥である。スズメは1年中日本にいる。(3), (4)セミは昼間活動するが, カブトムシは夜間活動する。
- 3 (1)Aキ Bカ Cウ Dコ Eア  
Fエ Gオ Hケ (2)A春 B夏 C夏  
D春 E春 F秋 G春 H秋 (3)①E  
②H ③C ④A ⑤B ⑥F ⑦D  
⑧G  
[考え方] (2)トンボ, カブトムシは夏になると見られはじめる。夏, 山にいくと, たくさんのアカトンボが見られる。これはアキアカネという種類で, 平地でかえたものが, 山に移り, 秋になると, ま

た平地にもどってくる。(3)②冬になると, 畑のまわりの鉄じょうもうや, 木のえだに, トカゲやカエル, バッタなどがつきさしてあるのを見つけることができる。これは, モズの「はやにえ」とよばれるものである。